

平成26年度「専修学校留学生就職アシスト事業」成果報告書

事業名	九州での就業に結びつける留学生総合支援プログラム		
法人名	一般社団法人福岡県専修学校各種学校協会		
学校名			
代表者	会長 中村 哲	担当者 連絡先	事務局長 井上 透 TEL：092-292-6104
1. 事業の目的・概要等			
<p>グローバル化の進展の中で日本の産業競争力を高めることが求められているが、日本企業や日系企業においては、海外との橋渡し役となる「ブリッジ人材」として優秀な外国人留学生を積極的に受け入れることが重要となっている。</p> <p>このため、この事業をとおして、外国人（留学生）に対して来日を促し、専修学校への入学を支援したり、卒業後の日本での就職を産業界と連携して支援したりするなど、専修学校への留学に係る入口から出口までの体系的な支援を行うこととする。</p> <p>特に福岡県専修学校各種学校協会としては、留学生が九州にとどまり、この地で就職できるような方向性で取り組みを推進する。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
(1) 実施概要（目的・内容・期間等）			
<p>① 教職員研修（法令等研修）</p> <p>留学生の国内就職実績の少ない学校や指導経験の浅い担当者を対象に、在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館、福岡入国管理局との連携のもと、在留（就労）資格取得に関する法令や外国人採用に関する企業の現状、海外の留学事情などについて研修・情報提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●開催日時：平成26年10月2日（木）13:00～16:00</li> <li>●開催場所：九州英数学館</li> <li>●次第・内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1部 講演「ベトナムの教育事情」 講師：在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館 総領事           ブイ・クオック・タイン 氏</li> <li>・第2部 講演「出入国管理行政について」 講師：福岡入国管理局入国・在留審査部門 上席入国審査官 中村 真二 氏</li> </ul> </li> </ul>			

## ② 教職員研修（受け入れ等準備講習）

最近ベトナム及びネパールの留学生が増加傾向にあることから、この両国に焦点を当て、より深く具体的な社会・経済問題や文化背景、両言語の基礎、在留資格（特にトラブル解決策）について、講習を行った。

### 【福岡（ベトナム）】

●開催日時：平成26年10月18日（土）9:00～15:00

●開催場所：九州英数学館

●次第・内容：

- ・第1部 講義「ベトナム語入門」  
講師：HAKATA外国語スクール講師 ドティミ・ハン 氏
- ・第2部 講義「ベトナム事情講座」  
講師：HAKATA外国語スクール講師 ドティミ・ハン 氏
- ・第3部 講義「行政書士による就労ビザ講座」  
講師：行政書士 松村 義之 氏

### 【福岡（ネパール）】

●開催日時：平成26年10月25日（土）9:00～15:00

●開催場所：九州英数学館

●次第・内容：

- ・第1部 講義「ネパール語入門」  
講師：HAKATA外国語スクール講師 グロン・サパナ 氏
- ・第2部 講義「ネパール事情講座」  
講師：グローバル・フード・トレーディング（株）代表取締役  
シェルスタ・ラム・クリシュナ 氏
- ・第3部 講義「行政書士による就労ビザ講座」  
講師：行政書士 木村 秀作 氏

### 【北九州（ベトナム）】

●開催日時：平成26年11月1日（土）9:00～15:00

●開催場所：九州テクノカレッジ

●次第・内容：

- ・第1部 講義「ベトナム語入門」  
講師：HAKATA外国語スクール講師 ドティミ・ハン 氏
- ・第2部 講義「ベトナム事情講座」  
講師：橘ユイ 氏
- ・第3部 講義「行政書士による就労ビザ講座」  
講師：行政書士 松村 義之 氏

## 【北九州（ネパール）】

●開催日時：平成26年11月8日（土）9:00～15:00

●開催場所：九州テクノカレッジ

●次第・内容：

- ・第1部 講義「ネパール語入門」  
講師：HAKATA外国語スクール講師 グロン・サパナ 氏
- ・第2部 講義「ネパール事情講座」  
講師：グローバル・フード・トレーディング（株）代表取締役  
シェルスタ・ラム・クリシュナ 氏
- ・第3部 講義「行政書士による就労ビザ講座」  
講師：行政書士 木村 秀作 氏

### ③ 就業動機付けセミナー

専門学校と日本語学校が連携し、日本語の語学力を将来的な日本での就業につなげるため、日本語学校の学生に対し、求人ニーズの高い分野で高度な職業教育を実践している専門学校で授業体験を行った。

●開催日時・開催場所・次第・内容：

#### i) 福岡国土建設専門学校【測量土木・造園分野】

平成26年11月29日（土）10:00～12:30

測量情報科説明、測量体験、国際環境科説明、受験について、学校生活について

#### ii) 麻生工科自動車大学校【自動車整備分野】

平成26年12月13日（土）10:00～12:30

学校・学科説明、体験実習、入試説明、在校生へ質問タイム

#### iii) 専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ【ホテル・エアライン・トラベル分野】

平成26年12月13日（土）13:00～15:00

学校紹介、観光業界で求められる人材、在校生による学校生活紹介、体験授業（カクテル作り）、在校生・先生との対話

#### iv) 麻生情報ビジネス専門学校【IT・ゲーム分野】

平成26年12月13日（土）13:00～15:00

IT職種説明・IT職採用動向および日本での就職活動ポイント、プログラミング体験（Webプログラミング）、プログラミング体験（シューティングゲーム）、コンピュータ室見学、交流会（希望者対象 質問・相談）

#### v) 中村調理製菓専門学校【調理・製菓・製パン分野】

平成26年12月20日（土）11:00～14:00

学校説明、調理実習（日本料理）、昼食（自分で調理した料理）、校舎見学

vi) 専門学校昂大原自動車大学校【自動車整備分野】

平成26年12月21日(日)10:00~12:00

自動車学科実習棟見学と体験授業、学校説明及び受験について

vii) 専門学校九州ビジュアルアーツ【アニメ分野】

平成26年12月21日(日)13:00~16:30

学校全体の説明、アニメ業界の説明と学科の説明。学生作品の紹介、体験実習(TVアニメの作り方)、学校見学

④ 外国企業インターンシップ講習

日本人の専修学校の学生が海外現地企業でインターンシップを受ける際のノウハウ等に係る講習を実施した。

●開催日時：平成26年11月17日(月)13:30~15:30

●開催場所：福岡成蹊学園

●次第・内容：

- ・第1部 講演「ベトナム企業インターンシップ報告」  
講師：九州大学経済学部3年 高藪 広隆 氏
- ・第2部 講演「福岡成蹊学園体験型サマープログラム事業報告」  
講師：福岡成蹊学園 専任講師 八頭司 麻都佳 氏  
同上 体験学習を行った学生4名

⑤ 産学連携セミナー

留学生の就労に携わる企業、専修学校の留学生担当者、就職担当者等を対象にして、留学生がどのようにして就職に成功したかの実績例や関係者間の意見交換を通じ、留学生の就職に関する意識や認識を深めた。

●開催日時：平成26年12月3日(水)13:30~16:00

●開催場所：福岡ガーデンパレス

●次第・内容：

- ・第1部 講演「活躍する外国人人材の現場」  
講師：(株)戸畑ターレット工作所 経営管理部部長 池田 真佐博 氏
- ・第2部 講演「就職活動と日本で働くことについて」  
講師：九州旅客鉄道(株) 鄒 宜樺 氏
- ・第3部 講演「企業関係者と学校関係者による情報交換会」
  - ・企業・学校それぞれの現状、留学生に関する要望等
  - ・今後に向けての連携の確認

## ⑥ 留学生職場体験

専門学校や日本語学校で学ぶ留学生が、日本企業の職場での就業を実際に経験し、企業を通じた異文化理解や国際理解を深め、今後の進路決定や就職活動に役立てることができるよう、九州旅客鉄道（株）との連携により職場体験を実施した。

●開催日時：平成27年1月22日（木）13:30～14:45

●開催場所：九州旅客鉄道株式会社

●次第・内容：

- ・第1部 「JR九州博多駅構内の職場視察」  
案内：JR九州博多駅職員2名（2グループに分団）
- ・第2部 「JR九州の留学生採用に関する説明」  
説明：JR九州営業部企画課 松尾 氏

## ⑦ 就職説明会

留学生の採用を予定している九州地区（一部九州外あり）の日本企業の協力により、企業と留学生のマッチングのための就職説明会を開催した。

今年度は特に日本での人材不足が叫ばれている求人ニーズの高い分野の企業のブース出展を促した。

●開催日時：平成27年2月5日（木）13:00～17:00

●開催場所：博多スターレーン

●次第・内容：

- ・企業ブース出展
- ・行政書士による就労ビザ相談
- ・キャリアコンサルタントによる就職相談
- ・ビジネスマナー講座 第1回 ビジネスマナーの基本等  
第2回 挨拶の仕方、お辞儀の仕方等  
第3回 電話対応の基本、名刺交換の仕方等

## ⑧ 留学生・外国人向け就学・就業動機付けリーフレット

主に日本語学校在校生が、福岡の専門学校を經由して、九州で就職してみたいと考えるような学校制度や就職情報を掲載した。非漢字語圏の学生も理解できるよう日本語（ふりがな付き）に英語を併記した。また、海外在住者への広報にも使用できるよう、福岡の魅力や県内日本語学校や専門学校の紹介記事も併記した。

国の視察調査にて使用する資料（福専各紹介含む）を別途中国語簡体字にて作成し、今後海外での留学動機付け等にも使用できるようにした。

**⑨ 留学生・外国人向け多言語ウェブサイト**

留学生や海外在住者向けに、日本（特に福岡）の専門学校を經由して、日本での就業を目指すきっかけづくりのため、福岡の魅力を発信し、日本での留学から就職までをイメージできるようなウェブサイトを作成した。

外国人がウェブサイトを閲覧する際に、検索により当ウェブサイトが上位に表示され、実際に見てもらえるよう就学・就業に関する充実した情報を掲載した魅力的なサイトづくりに努めた。（中華圏・東南アジア圏に向けてバナー広告出稿等を継続的に実施）

**⑩ 留学生・外国人向け来日就業動機付け動画**

九州で就職している専門学校出身元留学生等が実際日本での職場でいきいきと活躍している映像（多言語テロップ付き）をホームページに掲載し、留学生や海外在住外国人に対して、留学から就業までをイメージできるようにし、日本での就業の動機付けを行った。

**⑪ 企業・専門学校へのアンケート・ヒアリング調査の実施**

企業や専門学校を対象に、留学生の就職の状況や動向、その考え方を把握し、当事業の基本的な方向性を見極めていくため、アンケート及びヒアリングを実施した。

先に実施したアンケートを基に、企業・専門学校に直接ヒアリング調査を行い、留学生の就労の現状を密接に把握し、連携体制を築きながら、当事業を進めた。

**⑫ 外国の地方行政等に対する来日就業動機付けのための調査・視察の実施**

海外の企業・学校や地方行政機関を直接訪問し、調査・視察を行うことによって、日本への留学・就業の現状や行政としての方向性を確認するとともに、連携体制を築き、福岡への留学やその後の福岡での就業を促進するよう努めた。

**⑬ 総合相談窓口の設置（多言語対応）**

日本での就労を希望する外国人や在留資格等で悩みを抱えている留学生に対し、電話やメールに多言語で対応するとともに、案件によっては実際の個別面談等も行う窓口を設置した。

また、留学生を採用している（採用を検討している）企業に対して個別訪問を行い、留学生の就労に関する利点や問題点などをヒアリングとともに、今後の対応のために、その情報の集約を図った。

これらをとおして、外国人・留学生の日本での就労に関する相談のノウハウを蓄積し、信頼されるより効果的な相談が可能となるよう取り組みを進めた。

なお、今年度は周知徹底のためチラシを作成し、関係機関等に配布した。

**(2) 参加者（受講者）の募集方法（手法・期間・効果）**

各事業の約1か月前にチラシ、新聞広告、専用ウェブサイト等にて告知。また、当協会加盟校、福岡県雇用対策協会、他県各専修学校協会等の協力を得て、企業等に郵送で通知した。効果としては、企業団体や専修学校以外の教育機関（日本語学校、大学等）とも今回の事業を通じ更に連携が深まった。

### (3) 参加者（受講者）の状況

#### ① 教職員研修（法令等研修）

●受講者（参加者）数：学校関係者 計 85 名（参加校 40 校）

#### ② 教職員研修（受け入れ等準備講習）

##### 【福岡（ベトナム）】

●受講者（参加者）数：学校関係者 計 25 名

##### 【福岡（ネパール）】

●受講者（参加者）数：学校関係者 計 25 名

##### 【北九州（ベトナム）】

●受講者（参加者）数：学校関係者 計 12 名

##### 【北九州（ネパール）】

●受講者（参加者）数：学校関係者 計 12 名

#### ③ 就業動機付けセミナー

##### i) 福岡国土建設専門学校【測量土木・造園分野】

●受講者（参加者）数：計 22 名

ネパール 12 名、ベトナム 7 名、スリランカ 2 名、韓国 1 名

##### ii) 麻生工科自動車大学校【自動車整備分野】

●受講者（参加者）数：計 8 名

ベトナム 4 名、中国 1 名、韓国 1 名、台湾 1 名、ドイツ 1 名

##### iii) 専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ【ホテル・エアライン・トラベル分野】

●受講者（参加者）数：計 6 名

中国 2 名、台湾 1 名、ネパール 1 名、スイス 1 名、ドイツ 1 名

##### iv) 麻生情報ビジネス専門学校【IT・ゲーム分野】

●受講者（参加者）数：計 5 名

中国 2 名、韓国 1 名、スイス 1 名、（引率：日本 1 名）

##### v) 中村調理製菓専門学校【調理・製菓・製パン分野】

●受講者（参加者）数：計 6 名

韓国 3 名、ベトナム 2 名、台湾 1 名

##### vi) 専門学校昂大原自動車大学校【自動車整備分野】

●受講者（参加者）数：計 6 名

ベトナム 5 名、中国 1 名

##### vii) 専門学校九州ビジュアルアーツ【アニメ分野】

●受講者（参加者）数：計 2 名

台湾 1 名、韓国 1 名

#### ④ 外国企業インターンシップ講習

●受講者（参加者）数：学校関係者 計 15 名（参加校 6 校）

⑤ 産学連携セミナー

●受講者（参加者）数：学校関係者 計 23 名 企業関係者 計 10 名

⑥ 留学生職場体験

●受講者（参加者）数：留学生 男性 16 名、女性 10 名 計 26 名

※国別：ネパール 5 名、台湾 5 名、中国 4 名、韓国 3 名、ベトナム 1 名、タイ 2 名、ドイツ 2 名、スイス 2 名、イタリア 1 名、ベルギー 1 名

⑦ 就職説明会

●受講者（参加者）数：留学生 約 200 名

●出展企業数：23 社

(4) 参加者（受講者）・企業の意識調査等

各専修学校・日本語学校、企業等へアンケートを行い、留学生の日本企業への就職について意識調査した。昨年度より留学生入学数・就職数とも増加傾向にあった。学校・企業とも留学生の受け入れ希望が増えており、中国に次ぎ、ネパール、ベトナムからの留学生が増加した。日本語のできる優秀な留学生を希望する企業もあり、特に自動車整備等の技術者の需要が高かった。医療関連では、メディカルツーリストの実施等も行っており、医療・福祉関連施設等の海外の日系企業への需要も見込まれている。反面、留学生の希望する分野は貿易業の割合が高いという結果となった。

(5) 参加（受講）後の状況（修了者数・就職率等）

就業動機付けセミナーへの総受講者は、55 名。より具体的な学習・就業内容を知ること、就業への意識が高まり、専門学校への進学意識を高めることができた。また、就職説明会では企業数 23 に対し、約 200 名の留学生が集まった。当事業を通し、効果的な就職支援ができた。

3. 事業の評価に関する項目

(1) 当初目的の達成状況

当事業を通して、異文化共生社会に向けた理解を深め、日本企業および海外の日系企業を支える人材として留学生を積極的に活用・採用してもらい、日本と母国を繋ぐブリッジ人材の養成等を、広く社会に啓発することが目的だった。

特に、就業動機付けセミナーでは、より学習・就業内容への理解を深めることができた。将来のビジョンを明確にすることが学生の意識を高めることに繋がり、2月に行った企業説明会では、約 200 名の留学生がスーツに身をつつみ、非漢字圏の学生も漢字でエントリーシートを書き込んでいた。



## (2) 事業の成果及び改善点

日本での就業に関する多言語ウェブサイト、多言語テロップ付き動画等、インターネットによる情報発信が普及し、学校・企業での留学生受け入れが増加した。就業動機付けセミナーへの参加校は7校、就職説明会への参加企業数は23社であった。全体の当事業を通して、外国人留学生採用企業を開拓し、留学生の日本での就職を増加させたことが達成実績と言える。

改善点は、学生、学校、企業とも、在留資格の知識が不足していること。今後も留学生が増加する見込みがあるため、スムーズに留学から就職までを支援できる体制作りが必要である。

## (3) 次年度以降における課題・展開

今年度初の試みである日本語学校と専門学校が連携した形で実施した就業動機づけセミナーや就職リーフレットの作成などにより、就職アシスト事業をより推進することができた。課題としては、今後ますます日本語学校と専門学校の連携強化を図っていく必要があること、学生・企業・学校における在留資格の知識不足や、ネパールなど非漢字圏の学生への対応の難しさがわかった。

また企業からのアンケートや、就職説明会参加企業の意見から、ASEANのブリッジ人材が求められていることがわかったため、今後ますますASEAN留学生の就職支援を実施していく必要がある。

## (4) 成果の普及

今年度の成果報告書を作成し、それを各都道府県専修学校各種学校協会等及び各専修学校等に配布することで、当事業の意義を普及させる。また企業向けにも成果報告書を配布し、専修学校がブリッジ人材育成を重視していることを強調、主な広報先として当協会加盟校、福岡県庁等地方公共団体、福岡商工会議所、福岡県雇用対策協会、中華人民共和国駐福岡総領事館、在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館、他県各専修学校協会等があげられる。今年度の事業内容を踏まえ、アジア各国に対し、日本留学の推進だけでなく、キャリア支援を行うように活用していく予定。

また、今年度開発した日本での就業に関する動機付けを行う多言語ウェブサイト・動画を、各専修学校等に周知し、日本での就職に繋がるように留学生にも広く見ていただく。そのため当事業で開発した多言語ウェブサイト・多言語テロップ付き動画はベトナム・中国当地のポータルサイト等にリンクすることで、現地でも情報を周知できるようにし、成果を普及させる。